

第2回無担保社債（グリーンボンド）資金充当状況・インパクトレポート

【資金充当状況（2023年3月末）】

項目	金額
調達金額	50.0億円
資金充当額	36.6億円
うち、リファイナンス	36.6億円
未充当金額 ^{※1}	13.4億円

※1 未充当の調達資金については、現金又は現金同等物にて管理しております。

【適格プロジェクト詳細およびインパクトレポート（2022年度）】

適格カテゴリー	適格プロジェクト	工場	インパクトレポート	概要
再生可能エネルギー	ホエイや有用成分回収工程で発生する副産物のバイオマスをメタンガス化する設備の導入	大樹	—	<p>ホエイや有用成分回収工程で発生する副産物のバイオマスをメタン発酵処理し、発生させたメタンガスの全量を工場のエネルギーとして有効活用いたします。これらの取組により、ホエイの新たな利用方法の技術確立を大きく前進させるとともに、メタンガスの活用やホエイの加工で使用する大量の水やCO₂排出量を削減することで、環境負荷の低減を図ります。</p> <p>※2023年5月稼働</p> <p>投資額： 28.0億円 調達資金使用額： 11.6億円 充当済金額： —</p> 
汚染防止と管理	排水処理設備能力増強更新	大樹 磯分内	<p>【大樹】 排水処理設備増強更新による2022年度の汚泥削減量^{※3}は318t（削減率23%）です。</p> <p>【磯分内】 排水処理設備増強更新による2022年度の汚泥削減量は492t（削減率80%）です。</p>	<p>排水処理設備を更新し、余剰汚泥の発生を抑え、汚泥を削減します。</p> <p>【大樹】 投資額： 20.4億円 調達資金使用額： 20.4億円 充当済金額： 20.4億円 （リファイナンス割合100%）</p> <p>【磯分内】 投資額： 13.4億円 調達資金使用額： 13.4億円 充当済金額： 13.4億円 （リファイナンス割合100%）</p>  <p>大樹工場設備</p>  <p>磯分内工場設備</p>
	汚泥減容化設備導入	野田	汚泥減容化設備更新による2022年度の汚泥削減量は132t（削減率21%）です。	<p>汚泥の自己消化により減容させる設備を導入し、汚泥を削減します。</p> <p>投資額： 2.8億円 調達資金使用額： 2.8億円 充当済金額： 2.8億円 （リファイナンス割合100%）</p> 
	汚泥乾燥設備導入	大樹	—	<p>少ないエネルギーで汚泥を乾燥出来る乾燥機を導入します。なお、乾燥させた汚泥は、肥料として売却する予定です。※2023年度稼働予定</p> <p>投資額： 1.8億円 調達資金使用額： 1.8億円 充当済金額： —</p>  <p>現在稼働中</p>

※2 調達金額50億円のうち、当プロジェクトへの充当予定額です。

※3 設備導入・更新前年度の汚泥排出量と2022年度の汚泥排出量を比較して算定しております（削減率についても同様）。